

2025年度 ニチキッズ長岡かわさき保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。
また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～2月13日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月20日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	園生活の中で「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」を子どもたちが感じられ、経験や学びから一人ひとりの成長につながっていく保育を常に意識した。
子どもの発達援助	個々の心身における発達段階の状況を把握し、それを踏まえて一人ひとりに合わせた援助ができるよう、また同じ方向性をもって子どもたちと関われるよう、職員間の連携を大事にした。
保護者に対する支援	連絡帳だけでなく、日々の送迎時に日中の様子を丁寧に口頭でも伝え、安心感を持って預けていただくようにつとめた。また、動画配信や写真販売、保護者参加行事を通して子どもたちの姿を多角的に見ることが出来る機会を多く作った。
保育を支える組織的基盤	どの職員も積極的に研修を受講し、受講で得た学びを共有することで全職員が同じ目線で保育を実践する意識を持つことが出来た。園内での研修も様々なテーマで行い、職員間で疑問を解消しながら日々の保育へ生かし、保育力向上へつないだ。

総評
質の高い保育を目指し、ミーティングや研修をとおして得た学びを基に、職員それぞれが自己研鑽に励む姿勢を維持できた。また、保護者様にとって安心して預けられる場となるよう、日々の子どもたちの様子の共有、成長を喜び合うなどのコミュニケーションを大切にされた。ホームページ、動画配信、写真販売等、視覚的にも分かりやすい発信も継続的に発信できた。今後もその姿勢を崩すことなく、常に全員が保育の質の向上を意識した関わりをしていけるように努めていきたい。